

1 議 事 日 程（初日）

〔令和5年太宰府市議会第3回（9月）定例会〕

令和5年8月25日

午前10時開議

於 議 事 室

- | | |
|-------|--|
| 日程第1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第2 | 会期の決定 |
| 日程第3 | 諸般の報告 |
| 日程第4 | 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて |
| 日程第5 | 諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて |
| 日程第6 | 諮問第3号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて |
| 日程第7 | 議案第40号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度太宰府市一般会計補正予算（専決第3号）） |
| 日程第8 | 議案第41号 市道路線の認定について |
| 日程第9 | 議案第42号 太宰府市子育て支援センター条例の一部を改正する条例について |
| 日程第10 | 議案第43号 令和5年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について |
| 日程第11 | 議案第44号 令和5年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について |
| 日程第12 | 議案第45号 令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について |
| 日程第13 | 議案第46号 令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について |
| 日程第14 | 議案第47号 令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算（第1号）について |
| 日程第15 | 認定第1号 令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について |
| 日程第16 | 認定第2号 令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 日程第17 | 認定第3号 令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について |
| 日程第18 | 認定第4号 令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 日程第19 | 認定第5号 令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 日程第20 | 認定第6号 令和4年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について |
| 日程第21 | 認定第7号 令和4年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について |
| 日程第22 | 報告第7号 令和4年度太宰府市健全化判断比率の報告について |
| 日程第23 | 報告第8号 令和4年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について |
| 日程第24 | 報告第9号 令和4年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について |
| 日程第25 | 報告第10号 太宰府市土地開発公社の経営状況報告について |

日程第26 報告第11号 公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について

日程第27 報告第12号 公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について

2 出席議員は次のとおりである（17名）

1番	タコスキッド	議員	2番	馬場礼子	議員
3番	今泉義文	議員	4番	森田正嗣	議員
6番	入江寿	議員	7番	木村彰人	議員
8番	徳永洋介	議員	9番	船越隆之	議員
10番	堺剛	議員	11番	笠利毅	議員
12番	原田久美子	議員	13番	神武綾	議員
14番	陶山良尚	議員	15番	小嶋真由美	議員
16番	長谷川公成	議員	17番	橋本健	議員
18番	門田直樹	議員			

3 欠席議員は次のとおりである

なし

4 会議録署名議員

17番	橋本健	議員	1番	タコスキッド	議員
-----	-----	----	----	--------	----

5 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（20名）

市長	楠田大蔵	副市長	原口信行
教育長	井上和信	総務部長	高原清
総務部理事	轟貴之	市民生活部長	高原寿子
健康福祉部長	川谷豊	都市整備部長	柴田義則
観光経済部長	友添浩一	教育部長	中山和彦
教育部理事	八尋純次	総務課長併 選挙管理委員会事務局長	佐藤政吾
<small>総務課秘書担当課長兼経営企画課広聴 広報担当課長兼シティプロモーション担当課長</small>	杉山知大	市民課長	今村江利子
福祉課長	大谷賢治	都市計画課長	古賀千年志
上下水道課長	大久保信孝	観光推進課長兼 地域活性化複合施設太宰府館長	西山英毅
社会教育課長	井本正彦	監査委員事務局長	添田邦彦

6 職務のため議事室に出席した事務局職員の職氏名（4名）

議会事務局長	野寄正博	議事課長	花田敏浩
書記	陣内成美	書記	三舛貴市

開会 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（門田直樹議員） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員数は17名です。

定足数に達しておりますので、令和5年太宰府市議会第3回定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

議事日程はお手元に配付しておるとおりです。

議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（門田直樹議員） 日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

今回の会議録署名議員は、会議録規則第87条の規定により、

17番、橋本 健議員

1番、タコスキッド議員

を指名します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第2 会期の決定

○議長（門田直樹議員） 日程第2、「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から9月20日までの27日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門田直樹議員） ご異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。

なお、会期内日程については、お手元に配付しております会期内日程表によって運営を進めたいと思います。また、本会議、委員会とも改めて通知を差し上げませんので、よろしくご協力をお願いします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 諸般の報告

○議長（門田直樹議員） 日程第3、「諸般の報告」を行います。

お手元に報告事項の一覧表を配付しております。監査関係、議長会関係の資料につきましては、事務局に保管しておりますので、必要な方はご覧いただきたいと思ひます。

これで諸般の報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4と日程第5を一括上程

○議長（門田直樹議員） お諮りします。

日程第4、諮問第1号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」及び日程第5、諮問第2号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」を一括議題にしたいと思いを。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(門田直樹議員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

[市長 楠田大蔵 登壇]

○市長(楠田大蔵) 皆様、おはようございます。

本日ここに、令和5年第3回太宰府市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変ご多用の中にご参集をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、ゴールデンウィーク以降に新型コロナウイルスの扱いが2類相当から5類相当に変更されたこともあり、6月議会以降も着実に令和の都だざいふとしての取組を進めてまいりました。

まず、福岡県市長会副会長として、また全国史跡整備市町村協議会副会長として、県内各地はもちろん、東京や沖縄、熊本など全国各地を訪れ、本市のプレゼンスを高めています。また、史跡地の先進的多用途活用の一環として進めている令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトの取組もキャンドルや蜂蜜、クラフトビールとその可能性を次々広げております。ポケモンGOとの連携は全国での5つに選ばれ、令和の都だざいふ回遊ルートと銘打った客館跡から大宰府政庁跡へのルートが新たな観光モデルコースとして世界に羽ばたきます。挫折も含めた経験豊富な外部人材を登用し、生え抜きの職員との相乗効果を図る就職氷河期世代採用も最後を迎え、それにふさわしい意欲的な人材が7月、8月に入庁しました。

交通環境の整備も大切な取組です。待望されておりました主要幹線であり通学路でもある関屋・向佐野線も道路拡張はもちろん、両側歩道や点字ブロックの整備を完了しました。コロナ禍を乗り越え、地域イベントの要である各地の夏祭りも復活してきました。最大19か所同時開催されましたが、お祝いとねぎらいのため全ての会場を回らせていただきました。世界に羽ばたく人材育成として市内の若き逸材の発掘にも努めております。空手や少林寺、バレーボール、バトントワリングや応用情報技術など多岐にわたる人材が育っています。

また、全世代居場所と出番構想の下、子どもの居場所づくりも広がってまいりました。ぎんももひろばと銘打った新たな拠点では無償で食事提供や学習指導も受けられます。そして何より、待ちに待った中学校完全給食も着実に進行しております。今月初旬には待望の日米クック太宰府セントラルキッチンが市内水城に完成し、お披露目されました。最新の設備の下、安心・安全でおいしいのはもちろんのこと、新調理場の誘致で法人税や固定資産税、新規雇用など経済税収効果も期待できます。1月の開始にご期待ください。

一方、7月9日から10日にかけて、活発な梅雨前線の影響で発生した線状降水帯の影響によ

り九州北部を中心に大雨となり、本市でも広範囲で土砂災害などの被害が発生しました。改めて、お亡くなりになられた方に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。今後も一日も早い復旧や改善に全力を挙げてまいります。長い梅雨が明けた後も全国でも上位となる猛暑日が連日続き、台風も次々に発生しております。市民の皆様におかれましては、改めて災害への十分な備えをお願いいたします。

さて、今なお物価の高騰が続く中、市民生活への支援も喫緊の課題であります。本議会にて小・中学生の1月から3月の給食費無償化、高齢者世帯への給付も提案しております。

同じく本議会に提出しております令和4年度決算であります。まずは実質収支額が18億円余りと昨年度の20億円超に続き、2年連続の大きな黒字決算となっております。また、市税もV字回復を果たし約86億円と過去最高値を記録、一般財源もふるさと納税が急伸し12億円を上回るなど、3年連続で大幅に増加し、こちらも過去最高値を記録しました。こうした良好な数字も反映して、昨年度の市民意識調査でも市政への信頼度が74.2%、住みやすさや職員満足度も80%を超え、効果的な行政運営も5年連続上昇しております。

そうした市政運営が客観的に評価されるうれしいニュースも飛び込んでまいりました。8月22日に発表された日経B P社のシティブランド・ランキング「住みよい街2023」であります。令和直後の2020年に九州・沖縄で4位、全国20位と過去最高を記録しておりましたが、今回それをさらに上回り、九州・沖縄でついにトップ、全国でも11位にランクインしました。長く続くコロナ禍でせつかくの令和ブームもしばらく鎮静化していましたが、コロナ後を見据えた令和の都だざいふとしての取組が改めて花開いてきたことに手応えを感じております。

先日の山の日に合わせて、市民の皆さんと宝満山に久しぶりに登りました。頂上からの俯瞰して見る風景からは悠久の歴史を体感でき、太宰府の無限の可能性を改めて感じました。今後も引き続き、令和の都さらに羽ばたきたいふの実現に向け、私の持ち得る力を出し尽くす所存でありますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、本日ご提案申し上げます案件は、人事案件3件、専決処分承認1件、市道路線認定1件、条例改正1件、補正予算5件、決算認定7件、報告案件6件、合わせて24件の議案のご審議をお願い申し上げます。

それでは、提案理由の説明を申し上げます。

諮問第1号から諮問第2号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、諮問第1号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」ご説明申し上げます。

現委員であります鎌石洋子氏の任期が令和5年12月31日付をもって満了となりますので、再び鎌石氏を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるため、ご提案申し上げます。

鎌石氏は、平成20年10月から人権擁護委員を5期15年務められ、人権相談や人権擁護活動に積極的に取り組まれており、人権擁護委員として適任であると確信しております。略歴などを

添付しておりますので、ご参照の上、ご意見賜りますようお願いを申し上げます。

次に、諮問第2号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」ご説明申し上げます。

現委員であります山本浩美氏につきましては、令和5年6月30日付で任期満了となっておりますが、後任者が委嘱されるまでの間、人権擁護委員法第9条の規定により令和5年12月31日まで任期を継続していただいております。このたび、山本氏の後任として木村千鶴氏を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるため、ご提案申し上げるものであります。

木村氏は、昭和47年4月に本市職員として入庁され、市職員として長年業務に携わる中で様々な人権問題について触れ、特に男女共同参画の推進に関しては、担当職員として業務に取り組まれた経歴をお持ちです。また、現在は男女共同参画の推進に関わる市民活動にも携わっておられ、女性はもちろんのこと、幅広い人権を視野に活動されており、人権擁護委員として適任であると確信しております。略歴などを添付しておりますので、ご参照の上、ご意見賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（門田直樹議員） 説明は終わりました。

自席へどうぞ。

質疑は8月29日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 諮問第3号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

○議長（門田直樹議員） 日程第6、諮問第3号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」を議題とします。

ここで、地方自治法第117条の規定により馬場礼子議員の退場を求めます。

（2番 馬場礼子議員 退席）

○議長（門田直樹議員） 提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 諮問第3号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」ご説明申し上げます。

現委員であります井上美知子氏につきましては、令和5年6月30日付で任期満了となっておりますが、後任者が委嘱されるまでの間、人権擁護委員法第9条の規定により令和5年12月31日まで任期を継続していただいております。このたび、井上氏の後任として馬場礼子氏を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるため、ご提案申し上げるものであります。

馬場氏は、キャリアコンサルタントの国家資格を保有され、人材派遣会社において女性の活躍推進に係る業務に携わってこられました。あわせて、不登校保護者支援サポーター及びシニ

アライフカウンセラーの資格も取得され、子どもから高齢者まであらゆる年齢層の支援にも関わられており、人権擁護委員として適任であると確信しております。略歴などを添付しておりますので、ご参照の上、ご意見賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（門田直樹議員） 説明は終わりました。

自席へどうぞ。

質疑は8月29日の本会議で行います。

ここで、馬場礼子議員の入場を認めます。

（2番 馬場礼子議員 入場）

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第40号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度太宰府市一般会計補正予算（専決第3号））

○議長（門田直樹議員） 日程第7、議案第40号「専決処分の承認を求めることについて（令和5年度太宰府市一般会計補正予算（専決第3号））」を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 議案第40号「専決処分の承認を求めることについて（令和5年度太宰府市一般会計補正予算（専決第3号））」についてご説明申し上げます。

今回の補正は、さきの7月に発生した大雨による災害を受け、一刻も早く復旧に向けた取組を行うため、災害復旧に係る予算を令和5年7月10日付で専決処分をさせていただいたものであります。

歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ3億4,725万3,000円を追加し、予算総額303億1,472万5,000円にお願いするものであります。

よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（門田直樹議員） 説明は終わりました。

自席へどうぞ。

お諮りします。

本案は委員会付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門田直樹議員） 異議なしと認め、委員会付託を省略します。

直ちに質疑、討論、採決を行います。

議案第40号「専決処分の承認を求めることについて（令和5年度太宰府市一般会計補正予算（専決第3号））」についてこれから質疑を行います。ただいまのところ通告がありませんので、質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

ただいまのところ通告がありませんので、討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第40号を承認することに賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○議長(門田直樹議員) 全員起立です。

よって、議案第40号は承認されました。

(承認 賛成16名、反対0名 午前10時15分)

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8から日程第14まで一括上程

○議長(門田直樹議員) お諮りします。

日程第8、議案第41号「市道路線の認定について」から日程第14、議案第47号「令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算(第1号)について」を一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(門田直樹議員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

[市長 楠田大蔵 登壇]

○市長(楠田大蔵) 議案第41号から議案第47号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、議案第41号「市道路線の認定について」ご説明申し上げます。

今回、認定を提案しております浦ノ城・醍醐線につきましては、林道四王寺線沿線の一部が宅地化されており、生活道路として利用されていることから、林道四王寺線の一部を用途変更し、路線認定を行うものであります。

道路法第8条第1項の規定に基づき市道認定するに当たり、同条第2項の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第42号「太宰府市子育て支援センター条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

今回の改正は、令和4年6月15日に公布された児童福祉法などの一部を改正する法律が令和6年4月1日に施行されることに先立ち、こども家庭センター事業を行うに当たり、条例の一部を改正する必要性が生じたため、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第43号「令和5年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ16億9,992万4,000円を追加し、予算総額を320億1,464万9,000円にお願いするものであります。

主な内容といたしましては、エネルギー、食料品価格等の高騰がまだ続き、市民生活などに大きく影響を及ぼす中で、小・中学生の子育て世帯を支援するため市立小・中学校の給食費を3か月間無償化するための費用、高齢者の生活支援として給付を行う費用、また高齢者施設や障がい福祉サービス事業所、保育所等に対し活動を支援するため補助金を給付する費用などを計上しております。

物価高騰対策以外では、冠水等の危険性が高い市内地下道7か所の今後の安全対策を検討するとともに、一部の地下道について安全対策を講ずるための費用、筑紫野警察署西鉄前交番が西鉄二日市駅の西口側から東口側へ移転するに当たり、移転場所を確保し、市民の安心・安全に資するための費用などを計上しております。

また今回、将来の財政需要への備えとして、令和4年度決算剰余金を財源としまして、公共施設整備基金、財政調整基金、地域福祉基金、令和の都太宰府ふるさと納税基金への積立てを計上しております。

あわせて、繰越明許費の追加を2件、債務負担行為の追加を2件計上しております。

次に、議案第44号「令和5年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ398万円を追加し、予算総額を71億1,062万4,000円にお願いするものであります。

内容といたしましては、法改正により令和6年1月から開始が予定されている国民健康保険税の産前産後免除制度及び令和6年度からの国民健康保険税納付書への地方税統一QRコード印字に対応するためのシステム改修の費用を計上するものであります。

次に、議案第45号「令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、保険事業勘定の歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ8,245万1,000円を追加し、予算総額を59億4,884万5,000円にお願いするものであります。

内容といたしましては、令和4年度の介護給付費、地域支援事業費などが確定したことによる国庫支出金、県費支出金、支払基金交付金などの返還及び追加交付、前年度繰越金などを計上するものであります。

次に、議案第46号「令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ150万3,000円を追加し、予算総額を185万7,000円にお願いするものであります。

内容といたしましては、令和4年度決算における剰余金を住宅新築資金等公債償還積立金に計上するものであります。

次に、議案第47号「令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、資本的支出を1,924万5,000円増額し、総額7億2,748万9,000円にお願いするものであります。

内容といたしましては、大佐野ダム堤体の改修工事を行うため、工事請負費を増額するものであります。

○議長（門田直樹議員） 説明は終わりました。

自席へどうぞ。

質疑は8月29日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第15から日程第21まで一括上程

○議長（門田直樹議員） お諮りします。

日程第15、認定第1号「令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」から日程第21、認定第7号「令和4年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門田直樹議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 認定第1号から認定第7号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、認定第1号「令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

令和4年度は、長引くコロナ禍に加え、不安定な世界情勢の影響によるエネルギー、食料品等の価格高騰を受け、市民や事業者の皆様の支援に取り組むとともに、市制施行40周年の節目の年を迎え、その記念すべき年を祝いつつもさらに50周年の未来につなげるため、全力で駆け抜けた1年でありました。

その結果としまして、令和4年度一般会計決算額は、歳入が317億5,369万9,010円、歳出が294億8,479万2,478円となり、前年度と比較しますと、歳入は11億797万7,686円、3.6%、歳出は13億1,802万9,368円、4.7%の大幅増額となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は22億6,890万6,532円、繰越明許費及び事故繰越による翌年度に繰り越すべき財源4億2,930万9,418円を差し引いた実質収支は18億3,959万7,114円と2年続けて大きな黒字決算とすることができました。

歳入につきましては、コロナの感染対策や様々な経済活性化対策などを講じてきたところ、市税においてV字回復を成し遂げ、過去最高の86億円に迫るまでになりました。また、ふるさ

と太宰府応援寄附につきましても返礼品やサイトの拡充など取組強化を行い、10億円の大台を大幅に上回るまでに至りました。

歳出につきましては、市制施行40周年の記念すべき年として、年間を通し様々な事業を実施する中で、元号令和の考案者とされる中西進先生にご来訪いただき、市民栄誉賞を授与することができたことや、応援大使の委嘱、世界に羽ばたく人材育成、子ども学生美術展のスタート、さらには令和文化会議の開催など記念行事を盛大に開催することができました。そのほかには、コロナや物価高騰への対応策や中学校完全給食の実施を決断し準備を進めるとともに、保育所待機児童ゼロを達成することができた新設保育園の整備、その他老朽化した小学校の改修や市内幹線道路の改良事業など公共投資も積極的に実行いたしました。そのほかにも、様々な事業を実行してきたところでありますが、いずれの事業でも遂行に当たっては、限られた予算の中で計画的かつ積極的に事業の推進に努めてきたところであります。

今なお続く物価高騰の波は、市民や事業者の皆様のあらゆる面において大きく影響を及ぼしておりますが、本年度編成した当初予算、市民ニーズに応える令和の都だざいふ予算や各補正予算にて課題に積極的かつ迅速に対応し、市民や事業者の皆様と共に未来の飛躍につなげてまいりたいと考えております。どうか議員の皆様をはじめ市民各位のなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、認定第2号「令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

令和4年度決算額は、歳入総額が68億9,445万7,778円、歳出総額が67億9,470万3,051円となっております。前年度と比較いたしますと、歳入は2億5,935万8,143円、3.6%の減、歳出は2億3,819万4,491円、3.4%の減となり、歳入から歳出を差し引いた収支は9,975万4,727円の黒字決算となっております。

次に、認定第3号「令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

令和4年度決算額は、歳入総額が14億99万5,636円、歳出総額が13億5,499万3,295円となっております。前年度と比較いたしますと、歳入は4,763万6,822円、3.5%の増、歳出は4,610万3,361円、3.5%の増となり、歳入から歳出を差し引いた収支は4,600万2,341円の黒字決算となっております。

次に、認定第4号「令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

令和4年度決算額は、保険事業勘定の歳入総額が55億6,217万3,489円、歳出総額が54億9,556万1,902円となっております。前年度と比較いたしますと、歳入は0.8%の増、歳出は1.6%の増となり、歳入から歳出を差し引いた収支は6,661万1,587円となっております。

歳出の主な内容といたしましては、保険給付費が49億1,583万7,392円で、歳出総額の約90%を占めており、前年度より0.14%の増となっております。

次に、介護サービス事業勘定の歳入総額は5,472万9,078円、歳出総額は5,472万9,078円となっており、歳入から歳出を差し引いた収支は0円となっております。

次に、認定第5号「令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

令和4年度決算額は、歳入総額が435万7,977円、歳出総額が285万4,797円となっており、歳入から歳出を差し引いた収支は150万3,180円の黒字決算となっております。前年度と比較いたしますと、歳入は162万7,795円の減額、歳出は54万2,284円の減額となっております。

次に、認定第6号「令和4年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」ご説明申し上げます。

まず、令和4年度末における給水人口は、前年度に比べ0.2%減の6万608人で、普及率は85%となっております。また、年間総給水量は570万5,916<sup>m</sup>で、前年度と同程度となっております。

次に、建設改良につきましては、総額で12億4,510万7,015円を投じ、松川浄水場1系施設の更新及び配水管の布設替え工事等を行いました。

次に、経理面ではありますが、収入総額13億8,287万7,676円、支出総額12億1,539万3,735円で、差引き1億6,748万3,941円の純利益が生じております。

なお、剰余金の処分ではありますが、1,934万8,485円を建設改良積立金に積み立て、5億7,772万4,011円を資本金に組み入れるものであります。

資本的収支につきましては、収入総額3億6,491万2,200円に対し、支出総額13億6,396万4,756円となっております。差引き9億9,905万2,556円の不足額につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、建設改良積立金、過年度分損益勘定留保資金で補填いたしております。

以上が令和4年度の水道事業会計における剰余金の処分及び決算の概要であります。

次に、認定第7号「令和4年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」ご説明申し上げます。

まず、令和4年度末における水洗化人口は、前年度に比べ0.4%減の6万9,441人で、水洗化人口普及率は97.4%となっております。また、年間有収水量は、前年度に比べ1.0%減の637万9,170<sup>m</sup>となっております。

次に、建設改良につきましては、総額で2億5,943万2,536円を投じ、汚水人孔蓋更新工事等を行いました。

次に、経理面ではありますが、収入総額17億3,877万5,981円、支出総額13億3,900万5,815円で、差引き3億9,977万166円の純利益が生じております。

なお、剰余金の処分でございますが、1億1,290万6,804円を減債積立金に積み立て、4億8,024万5,348円を資本金に組み入れるものであります。

次に、資本的収支につきましては、収入総額2億3,512万6,580円に対し、支出総額8億

7,060万5,459円で、6億3,547万8,879円の不足が生じたので、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金で補填しております。

以上が令和4年度の下水道事業会計における剰余金の処分及び決算の概要であります。

○議長（門田直樹議員） 説明は終わりました。

自席へどうぞ。

お諮りします。

日程第15、認定第1号「令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」は、議員全員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門田直樹議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。

お諮りします。

決算特別委員会の正副委員長を慣例により決定したいと思います。

決算特別委員会の委員長に総務文教常任委員会委員長の陶山良尚議員、副委員長は各常任委員会副委員長の輪番制で、今回は環境厚生常任委員会副委員長の長谷川公成議員とすることに決定したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門田直樹議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。

ここで決算特別委員会の日程等について委員長の説明を求めます。

決算特別委員長 陶山良尚議員。

〔14番 陶山良尚議員 登壇〕

○14番（陶山良尚議員） 今回の決算特別委員会の委員長に私、陶山良尚、副委員長に長谷川公成議員が選任されました。特別委員会が効率よく運営されるよう努めてまいりますので、議員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

日程について説明いたします。

本日の本会議散会后、決算特別委員会を開催し、まず執行部から令和4年度一般会計歳入歳出決算についての概要説明を受けたいと思います。一般会計歳入歳出の詳細については、9月13日水曜日午前10時から、決算書及び各資料を基に具体的な内容の審査を行います。

なお、特別会計及び企業会計の決算審査は、今定例会から各所管常任委員会で行うこととなっておりますので、各委員及び説明者におかれましてはよろしくお願いいたします。

また、一般会計、特別会計、企業会計等決算審査資料要求については、配付されています資料要求書により8月28日月曜日午後1時までに事務局へ提出してください。資料の要求に当たっては、関係資料等の内容を十分に精査され、必要最小限の要求としてください。

次に、決算考査日は、本日の議会関係会議終了後並びに8月28日及び9月12日の午前10時からとなっております。

以上で説明を終わります。

○議長（門田直樹議員） 説明は終わりました。

自席へどうぞ。

認定第2号「令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」から認定第7号「令和4年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」までについて、質疑は8月29日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第22から日程第27まで一括上程

○議長（門田直樹議員） お諮りします。

日程第22、報告第7号「令和4年度太宰府市健全化判断比率の報告について」から日程第27、報告第12号「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について」までを一括議題にしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門田直樹議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

報告を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 報告第7号から報告第12号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、報告第7号「令和4年度太宰府市健全化判断比率の報告について」ご説明申し上げます。

本市の令和4年度健全化判断比率は、前年度に引き続き、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率についても表示されません。また、実質公債費比率は前年度と比較しますと0.1ポイント上がり、3.0%となりました。将来負担比率につきましては、前年度に引き続き、算定上マイナスになるため、比率の表示はありません。したがって、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要であります。

次に、報告第8号「令和4年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について」ご説明申し上げます。

令和4年度におきましても健全経営が維持されており、資金不足は発生しておりませんので、公表の際はバー表示となります。

次に、報告第9号「令和4年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について」ご説明申し上げます。

下水道事業におきましても水道事業と同様に資金不足は発生しておりませんので、公表の際はバー表示となります。

次に、報告第10号「太宰府市土地開発公社の経営状況報告について」ご説明申し上げます。

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、太宰府市土地開発公社の令和4年度の事業及び決算並びに令和5年度の事業計画及び予算について報告するものであります。

まず、令和4年度の事業及び決算についてであります。公有地取得事業については、事業の執行はございません。また、公有地の処分についても行っておりません。

決算につきましては、収益的収入882円に対しまして収益的支出は255万3,471円となり、差引き255万2,589円の当期純損失を生じております。

資本的収支については、収入額、支出額ともに0円となっております。

次に、令和5年度の事業計画及び予算についてであります。公有地取得事業では現在のところ、具体的に公社による取得を依頼されているものはありません。また、公有地の処分につきましても計画はありません。

次に、報告第11号「公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について」ご説明申し上げます。

太宰府市国際交流協会では、市民一人一人が個性、多様性を認め合いながら、国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現を図ることを目的に、公益認定を受けております国際交流促進事業、外国人学生支援事業、在住外国人支援事業の3つの分野で事業を展開しております。

まず、令和4年度の事業及び決算についてご報告いたします。

令和4年度に実施した事業であります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の事業は中止となりましたが、令和4年度は太宰府市国際交流協会設立30周年を迎え、記念冊子の作成及び本年1月にはプラム・カルコア太宰府で30周年記念式典を開催し、長年協会にご尽力いただいた方へ功労表彰を行いました。また、国際交流促進事業として、世界文化体験講座では太極拳を体験していただきました。ほかにもパネル展などの広報活動、国際交流団体が実施する事業への活動助成などを実施いたしました。外国人学生支援事業といたしましては、日本文化体験講座として、留学生などの外国人の皆さんに座禅体験や宝蔵見学を体験していただきました。また、在住外国人支援事業として、外国人を対象とした日本語教室の開催、生活情報ガイドブックを市役所等や留学生が在籍する市内3大学への配架などを行っております。

令和4年度の決算でございますが、経常収益につきましては、本市からの補助金、賛助会員からの会費等合わせまして724万230円となっております。経常費用につきましては、事業費支出467万2,447円、管理費支出254万8,908円、合計722万1,355円で、当期経常増減額は1万8,875円の増となっております。

次に、令和5年度の事業計画と収支予算であります。

令和5年度の事業につきましては、市民の国際理解が深まる事業、外国人学生や在住外国人の支援事業について、感染防止対策と社会経済活動の両立を図りながら実施していく予定としております。

令和5年度の収支予算につきましては、経常収益として、市からの補助金等合わせまして597万8,000円を見込み、経常費用といたしましては、事業費、管理費を合わせまして607万8,000円とし、当期経常増減額を10万円の減と見込んでおります。

次に、報告第12号「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について」ご説明申し上げます。

まず、令和4年度の事業と決算についてご報告いたします。

主な事業といたしましては、いきいき情報センターをはじめ9つの施設の管理運営と文化スポーツの振興に関する事業を行い、イベント、展示事業、軽スポーツやレクリエーション、それから文化スポーツ振興財団設立30周年記念事業としまして、上映会や落語、演奏会やコンサートなど合わせて174事業を開催したところであります。この結果、各種事業の参加者数は延べ3万4,999人、管理運営している施設におきましては、43万2,857人の方にご利用をいただきました。今後も、多様化する市民ニーズに応えますためにサービスの向上を図るとともに、市民が安全で安心して利用できる施設の管理運営に全力を傾注してまいります。

決算につきましては、主な収益として、指定管理料収益、自主事業収益、施設利用料収益、市補助金等を合わせまして、当期経常収益計3億299万4,845円となっております。経常費用につきましては、財団が管理運営する各施設の事業費、管理費を合わせまして、合計2億9,951万6,799円となり、当期経常増減額は394万100円となっております。これに一般正味財産期首残高を合わせますと、基本財産を除き、一般正味財産期末残高は8,038万2,278円となっております。

次に、令和5年度の事業計画と予算についてであります。

当財団の設置目的に基づく生涯学習支援事業や展示事業、また健康増進を図るスポーツ振興事業、イベント等を、いきいき情報センター、文化ふれあい館、男女共同参画推進センター、市民図書館の文化施設並びに体育センター、歴史スポーツ公園の社会体育施設におきまして、合計260の事業を計画しております。

次に、予算につきましては、7施設の指定管理料収益と自主事業収益、施設利用収益等を合わせまして、収支予算として経常収益2億9,752万2,000円、経常費用計が3億3,406万7,000円で、当期経常増減額はマイナス3,654万5,000円となります。一般正味財産期首残高は、基本財産を除き4,613万9,378円を見込んでおり、それを加えますと、一般正味財産期末残高は913万9,378円となります。

○議長（門田直樹議員） 報告は終わりました。

自席へどうぞ。

これから質疑を行います。

報告第7号について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門田直樹議員） 次に、報告第8号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(門田直樹議員) 次に、報告第9号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(門田直樹議員) 次に、報告第10号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(門田直樹議員) 次に、報告第11号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(門田直樹議員) 次に、報告第12号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(門田直樹議員) これで質疑を終結し、報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長(門田直樹議員) 以上で本日の議事日程は全て終了しました。

次の本会議は、8月29日午前10時から再開します。

本日はこれもちまして散会します。

散会 午前10時45分

~~~~~ ○ ~~~~~